

# 狭心症

## 突然胸が痛み歩行も困難に。どんな治療法があるの。

川崎市の谷口善洋さん(63)は04年11月、職場の仲間と食事をした帰りに突然胸が苦しくなり、歩けなくなった。「すり足のようにゆっくりしか進めない。ひどい胸焼けのような苦しきだった」

自宅近くの診療所に行っても、心電図や胸部エックス線検査では異常がなかった。しかし、同じ症状が続くため、専門医がいる病院を受診すると、狭心症と診断された。カテーテル検査の結果、「心臓の表面を走る3本の冠動脈のうち、1本はほとんど詰まっている」と言われた。その日のうちに、ステントと呼ばれる網のような金属を入れて、詰まった血管を広げる治療を受けた。

### 投薬／カテーテル／バイパス手術

# 病状に応じ選択

■主原因は動脈硬化  
狭心症の主原因は動脈硬化だ。心筋に十分な血液がいかずに酸欠状態になり(心筋虚血)、胸の痛み、不快感などが生じる。心臓血管研究所付

属病院(東京都港区)の矢嶋純二循環器科部長によると、運動をすると苦しくなり、安静にしていると治まるのは「安定狭心症」と呼ばれる。胸以外に痛みを感じる時もあり、矢嶋部長は「運動をした時に胸だけでなく、左肩や胃の周囲が痛むようであれば疑った方がいい」という。また、発作の頻度が増えたり安静時にも症状が出る「不安定狭心症」の患者も少なくない。ただ、苦しい状態が15分以上続くようであれば、心筋の一部が死んでしまう心筋梗塞の可能性もあるという。

一方、神経障害などで痛みを感じにくくなっていく人が、心筋虚血状態になった場合は、狭心症と区別して「無症候性心筋虚血」と呼ばれる。糖尿病患者や高齢者は痛みを感じにくい傾向があり、発見が遅れて突然死に至る可能性もあるため、定期検診が重要だ。

薬物療法(抗血小板薬、血管拡張剤など)▽カテーテル治療(バルーンやステントを入れる)▽バイパス手術—がある。病状によって治療戦略が変わっていくため、矢嶋部長は「この治療が絶対がいい」という判断が難しい。医師と相談し納得の行く方法を選ぶのが大切で、納得できなければ他の医師に相談するセカンドオピニオンも検討してみてもいい」と話す。

このうち、ステントは国内のカテーテル治療の9割で使われている。症例数は年間20万例程度に上るとみられるが、最近注目されているのは「薬剤溶出ステント」だ。薬剤溶出ステントは、免疫抑制剤や抗がん剤をステント表面に塗り、血管内側の細胞増殖を抑制することを旨とする。従来はステントを入れた部分の細胞が増殖し、再び狭さくが起る確率が10〜30%といわれていた。薬剤溶出ステント発売元のジョンソン・エンド・ジョンソン(東京都千代田区)によると、再狭窄率が従来のステントの約4分の1になったとの研究もあるという。一方、薬剤溶出ステントを入れ

## 判断難しく 医師とよく相談を



①正常な血管  
②重症狭心症の冠動脈。ほとんど見えないほど細く、重症でバイパス術も難しいという

③広がる前の薬剤溶出ステント  
④広がった後の薬剤溶出ステント。血管に入れる前の状態で直径が2.5〜3.5mmという

⑤いずれもジョンソン・エンド・ジョンソン提供

薬剤溶出ステントは、免疫抑制剤や抗がん剤をステント表面に塗り、血管内側の細胞増殖を抑制することを旨とする。従来はステントを入れた部分の細胞が増殖し、再び狭さくが起る確率が10〜30%といわれていた。薬剤溶出ステント発売元のジョンソン・エンド・ジョンソン(東京都千代田区)によると、再狭窄率が従来のステントの約4分の1になったとの研究もあるという。一方、薬剤溶出ステントを入れ

東北大の臨床試験は、尿路結石の粉碎治療に使う10分の1の出力の衝撃波を照射する方法。下川宏明教授によると、低出力衝撃波には心筋をマッサージするような作用があり、血管新生を促す効果がある。03〜04年、九州大で実施した臨床試験では、血流の増加が確認され、発作時に飲むニトログリセリンの服用頻度が大幅に減る効果があったという。

下川教授は「低出力衝撃波治療は麻酔の必要も少ない。高齢者や他の病気が併せ持つ患者にとって有効な治療法になる可能性がある」と、さらに研究を進めたいとしている。

【大場あい】

### 狭心症の主な治療法

- 薬物療法
  - 抗血小板薬(血液を固まりにくくする。アスピリンなど)
  - 血管拡張薬(カルシウム拮抗薬<きっこう>薬やニトログリセリンなど)
  - β拮抗薬(心臓の拍動を緩やかにして負担を少なくする)
- カテーテル療法
  - バルーン(風船で狭くなった部分を広げる)
  - 方向性粥腫(じゅくしゅ)切除術(狭くなった部分を削り取る)
  - ロータブレード(石灰化した部分などを破碎する)
  - ステント(狭くなった部分を網状の金属で広げる)
- 冠動脈バイパス術
  - 内胸動脈などの動脈や体の他の部分からとった静脈で狭くした冠動脈を迂回(うかい)する通り道を作る

